

瀬戸市水道事業給水条例の一部を改正する条例をここに公布する。

令和 7 年 1 2 月 2 2 日

瀬戸市長 川 本 雅 之

瀬戸市条例第 4 9 号

瀬戸市水道事業給水条例の一部を改正する条例

瀬戸市水道事業給水条例（昭和 3 5 年瀬戸市条例第 8 号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後		改正前				
(水道使用者等の届出義務)		(水道使用者等の届出義務)				
第 2 4 条 水道使用者等は、次の各号の一に該当する場合は、あらかじめ市長に届け出なければならない。		第 2 4 条 水道使用者等は、次の各号の一に該当する場合は、あらかじめ市長に届け出なければならない。				
(1) <省略>		(1) <省略>				
(2) <省略>		(2) <u>用途を変更するとき。</u>				
(料金)		(料金)				
第 3 0 条 料金は、 <u>次の表に定めるところにより算定した基本料金の額及び従量料金の額にそれぞれ 1 0 0 分の 1 1 0 を乗じて得た額（1 円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。）を合算した額とする。</u>		第 3 0 条 料金は、 <u>給水料及びメーター使用料とする。</u>				
		(1) <u>給水料の額は、次の表に定めるところにより算出した基本料金と超過料金の額にそれぞれ 1 0 0 分の 1 1 0 を乗じて得た額（1 円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。）を合算した額とする。</u>				
基本料金		従量料金	種別及び用途	基本料金	超過料金	備考
メーターの口径	料金	(1 立方メートルにつき)		(1 月につき)	(1 立方メートルにつき)	
	(1 月につき)	つき)				

	㇏			基本水 量	金額	超過水 量	金額	
ミリメートル	円	10立方メートルま	家庭用	立方メ	円	立方メ	円	一般家庭
13	1, 015	で 60円		ートル		ートル	155	用
20	1, 245	10立方メートルを		10	975	10ま		
25	1, 370	超え20立方メート				で		
40	1, 495	ルまで 200円				10を	200	
50	4, 160	20立方メートルを				超え4		
75	6, 545	超え50立方メート				0まで		
100	6, 930	ルまで 270円				40を	255	
150	14, 825	50立方メートルを				超える		
		超え100立方メー	営業用	10	975	10ま	170	官公署、
		トルまで 320円				で		学校、病
		100立方メートル				10を	210	院、工場
		を超えるもの 35				超え4		、事務所
		0円				0まで		及び次欄
						40を	255	に属しな
						超え9		い営業に
						0まで		使用する
						90を	280	もの
						超える		
						もの		
			湯屋営	10	755	二	80	一般公衆
			業用					浴場に使
								用するも
								の
			娯楽用	10	2, 0	二	280	噴水、滝
					20			、園地そ
								の他娯楽
								に使用す
								るもの
			臨時・	10	1, 2	10ま	170	建設工事
			散水用		95	で		、散水そ
						10を	210	の他一時

(使用水量の認定)

(2) メーター使用料の額は、次の表に定めるところにより算出した額に100分の110を乗じて得た額（1円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。）とする。

(最低使用水量)

第31条 最低使用水量は、基本料金の水量とし
、1給水装置の1月の使用水量が、前条第1号
に定める基本料金の水量に満たない場合であつ
ても、基本料金の水量まで使用したものとして
計算する。

(使用水量及び用途の認定)

<p>第33条 市長は、次の各号の一に該当するときは、使用水量を認定する。</p> <p>(1) <省略></p> <p>(2) <省略></p> <p>(特別な場合における料金の算定)</p> <p>第35条 月の中途において、水道の使用を開始し<u>若しくは廃止し又は中止した</u>ときの料金は、次のとおりとする。</p> <p>(1)及び(2) <省略></p> <p>2 前項第1号の場合において、使用水量が最低使用水量の2分の1を<u>超える</u>ときは、その<u>超える部分</u>は、超過料金として同号の料金に加算する。</p> <p>3 月の中途において、<u>メーターの口径</u>に変更があった場合は、その使用日数の多い<u>口径の料金</u>を適用して算定する。<u>ただし、使用日数が同じであるときは、変更後のメーターの口径に従う。</u></p> <p><u>（料金算定基準の認定）</u></p> <p>第37条 <u>使用者が届け出た料金の算定基準となる事項</u>が事実と相違するときは、市長がこれを認定する。</p>	<p>第33条 市長は、次の各号の一に該当するときは、<u>使用水量及びその用途</u>を認定する。</p> <p>(1) <省略></p> <p>(2) <u>料率の異なる2種以上の用途に水道を使用するとき。</u></p> <p>(3) <省略></p> <p>(特別な場合における料金の算定)</p> <p>第35条 月の中途において、水道の使用を開始し<u>もしくは廃止しまたは中止した</u>ときの料金は、次のとおりとする。</p> <p>(1)及び(2) <省略></p> <p>2 前項第1号の場合において、使用水量が最低使用水量の2分の1を<u>こえる</u>ときは、その<u>こえる部分</u>は、超過料金として同号の料金に加算する。</p> <p>3 月の中途において、<u>その用途</u>に変更があった場合は、その使用日数の多い<u>料率</u>を適用して算定する。</p> <p><u>（用途その他の認定）</u></p> <p>第37条 <u>用途その他算定基準の届け出</u>が事実と相違するときは、市長がこれを認定する。</p>
---	--

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、令和8年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。

（経過措置）

- 2 改正後の瀬戸市水道事業給水条例（以下「改正後の条例」という。）第30条の規定にかかわらず、この条例の施行日前から継続して供給し

ている水道の使用で、同日前までの使用水量に係る料金が含まれる場合については、なお従前の例による。

（令和１０年３月分までの料金に関する特例）

- 3 令和１０年３月分までの料金については、改正後の条例第３０条の表の規定にかかわらず、「１０立方メートルまで ６０円」とあるのは「１０立方メートルまで ０円」とする。